

## 中学2年生が「高志学」外部講師リレー講座⑥を行いました

令和6年5月14日（火）に、2年生が本校若葉食堂で外部講師リレー講座⑥を行いました。

春江病院の中嶋久仁子先生、西田沙由里先生とふくいヒトモノデザイン株式会社（福井銀行グループ）の野村周平先生をお招きしてご講演いただきました。

春江病院の講座では、自宅で倒れた高齢者を例として、搬送から退院後までの期間の病院の関わり方をわかりやすく説明していただきました。医師、看護師、薬剤師、リハビリ職、社会福祉士、介護福祉士などの医療スタッフが1つのチームとなり、患者さんや家族と意見交換をしながら、よりよい方法を模索し支援していく過程が理解できました。また、様々な職種の方々のインタビュー動画を見せていただき、福井で医療従事者として働くことになったきっかけややりがいも学ぶことができました。

ふくいヒトモノデザイン株式会社の講座では、最初に銀行の役割についてお話していただきました。預金、貸出、為替という主な業務に加えて、「現金その場限り」というお金をその場できちんと正確に数える大切さを教わりながら、模擬紙幣を数える経験をしました。さらに、福井の魅力ある人や物を全国に向け発信するふくいヒトモノデザイン株式会社のインバウンドを見据えた観光資源の開発についても学びました。いずれも「地域に暮らす人々の豊かな生活の実現」を掲げ、お客さんの求める「ありたい姿」の実現を目指し、伴走するやりがいについて教えていただきました。



### [生徒の感想]

- ・病院の仕組みについて、大まかなことが分かりました。入院した際には状態に合わせて転院する仕組みがあることを初めて知りました。退院をしたらそこで終わりではなく、退院後も訪問を行い患者さんも家族も安心して過ごすことが出来ると感じました。
- ・銀行は、ほぼすべての人に関わる仕事で、よりレベルの高いコンプライアンスが必要だということが分かりました。また、お金のことだけでなく、企業の課題を一緒に解決してくれていることを知り、とてもありがたいことだと思いました。
- ・銀行の仕事の他に地元福井をPRしたり、商品開発したりしていることに興味を持ちました。福井駅にも売っているとおっしゃっていたので、今度食べに行きたいと思います。